2022-2023
RI テーマ
イマジン
ロータリー

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650　2023.6.20　No.2670

TAKEFU WEEKLY

創　立／1954 年（昭和 29 年）6 月 30 日
事務局／〒915-8522　越前市塚町 101　武生商工会館内
TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333　E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp
例会日／毎週火曜日　例会場／武生商工会館
会　長／河嶋　一　幹　事／柿谷　好彦
会報委員長／上野　巌

第 3255 回 例 会 記 録 令和 5 年 6 月 13 日(火)

本日出席会員 31 名
メークアップ(前々回) 5 名
出席率(前々回補正) 67.35%

会員総数 49名

ロータリーソング「我らの生業」
ゲスト：パラダイス会　森本辰之氏　森本葉子氏

会長挨拶　第 69 代会長　河嶋　一

先週末、気分転換しに博多に行ってきました。久しぶりの博多です。

前回行ったときには空港はリニューアル工事中でしたが、立派な空港に変わっていました。

地理的な関係と円安の影響か、韓国人の方が以前より多く見受けられました。博多は食べ物が美味しい、地鶏の天草大王ともつ鍋を堪能してきました。値段も安い、福井県の物価が高すぎますね。これもイオンがないからでしょうね。

先週の岡崎副会長の卓話どうでしたか？

世の中の弱者の方々に寄り添った時代になることを切に願うとともに、今の私に出来る事はやっていきたいと思いました。お肉をお腹一杯食べさせてあげたいと思いますのでまだの方はご寄付の方よろしくお願いします。

今日はパラダイスの森本会長の農業のお話です。森本会長よろしくお願いします。

プログラム

ゲスト卓話

「全ての命が輝くために、土を尊び
土を愛する自然農法を目指す」
森本辰之氏

皆様、こんにちは森本辰之ともうします。

武生ロータリーの皆様からは、パラダイス会への心からの寄り添いとご支援、ご寄付いただき本当に有難うございます。

昨年度は、手話の下敷きがとても好評で、1800 人にお渡しすることが出来ました。そんな中、丹南ケーブルさんにも下敷きをおあげする機会がありました。とても喜んでくださいました。

その後、丹南ケーブルさんの企画でパラダイス手話の会に歌手の白井貴子さんや前田一平さんを招いて一緒に手話コラボをしたいと依頼をいただきました。

下敷きを配布した東児童館の子供たちにも声をかけさせてもらい、東児童館でみんなと一緒に、楽しい時間を共有することが出来ました。

下敷きをきっかけに、いろいろな方がつながってくださり感謝の気持ちです。今年度も下敷きのご寄付をいただけるとのことなので、大切に使わさせていただきます。

今日はハッピーパラダイス農園の会の活動についてお話させていただきます。

3 年前の 2020 年、私は、37 年間務めたパナソニックを早期退職しました。理由は、化学肥料や農薬が使われている農作物をたくさん食べると、人々の健康や生活にも、大きな影響を及ぼすことを学んだため、一人でも多くの方に、自然農法産の安全な野菜を美味しいと言って食べて頂けるように農業をしたいと強く思ったからです。

しかし、ほとんど農業に無関心だった私は、なん

の知識もなかったので、聾学校時代の農業をされている友達に教えてもらったり、野菜栽培士の通信講座を受け資格を取り基礎知識を学び始めました。

はじめは、2 メートルの高さのススキや草を刈りながら、雑木林の開拓を始めました。すぐに、野菜の苗を植えられる状況ではなく、草刈りのための燃料費と蚊取り線香を買っては刈る、刈るだけの毎日でした。

だんだんと自然農法に興味のある方が、お手伝いに来てくれるようになり、難聴者の友達やブラジルの方が、集まる交流の場となりました。

収穫物は、欲しいものを分配させてもらったり、一緒に料理を作り、食べたりしています。

難聴者の一人は、看板を手作りしてくれました。昨年 5 月、農業のことを最初から、私に教えてくれたろうあ者の斎藤さんが癌でなくなりました。

斎藤さんは、突然、あと 1 ヶ月の命と医師に告げられました。そんな体なのに、斎藤さんは、私みたいに病気にならないように、みんなの為に自然の野菜をたくさん作って頑張ってと言ってくれ、次から次へと野菜の育て方を教えてくれました。

身体の痛みに耐えながら、えんどう豆や玉ねぎの種を一緒に植えてくれました。自然農法に挑戦していた矢先の斎藤さんの死は、とてもショックでした。

そして、3 ヶ月後の 8 月に、台風の影響で川が氾濫し、洪水になり、畑は 1 メートル位水が付き、作業小屋もダメになり、ロータリーさんからいただいたばかりの耕運機も泥水につかり故障しました。

今は、修理して大丈夫です。その時は、野菜も花も泥だらけでしたが、土や植物たちの生きようと頑張っている呼吸を感じ、自分にできることを精一杯させてもらいました。

実際どうしたら良いのか分かりませんでしたが、とりあえず、土を温めたいと思いました。2 か月後、無事に鶴首かぼちゃとなり、皆さんに料理して食べてもらうことが出来ました。ご寄付いただいた倉庫がありとても助かり、頑張ってやろうという希望の光となりました。

すべての命が輝くために、土を尊び、土を愛する自然農法を目指します。農薬・肥料を使わない自然農法は、まだまだ、わからないことばかりです。

土さんがどうして欲しいのか、そこから生まれる野菜たちがどうして欲しいのか、土の声を聴きながら畑をしています。

地域社会とのつながりも大切にしながら、安心・安全な自然栽培に挑戦していきたいと思っています。

会員記事

「パスト会長　田中茂会員からの一言」

あなたは、進んで免許返納しますか？

高齢者専門の精神科医、和田秀樹さんの「70 歳が老化の分かれ道」という本を読みました。

普通の小学生で、超優等生と超劣等生の IQ の差は、せいぜい 80 から 120 の幅に収まり、50m走をやっても、速い子で 6~7 秒、遅い子でも 15 秒あれば走れるでしょうが、子どもの能力の差はその程度のものです。

しかし、高齢者の現実は、80 歳で認知症を患い会話がままならない人がいる一方で、これまでの仕事や知的な活動を続けられる人がいたり、寝たきりになって、介助の必用な人もいますが、水泳、ゴルフ、登山などスポーツを楽しめる 80 歳の人もいます。

つまり高齢者の方が、身体能力や脳機能において個人差が格段に広がっているのです。

で、どうしたらいいの？と思う人は、本を読んでもらうのがよいと思いますが、脳機能、身体能力ともに引退させることなく使い続けます。

例えば、たかが車の運転と侮らず、やめた影響で要介護リスクが 2 倍も変わるぐらい、高齢者は脆弱である事を意識して生活するようにと、述べられていました。

※高齢者の事故率は、20~30 歳代とあまり変わらない数字が統計上出されていました。

ニコニコ箱・・・20,000 円　累計　1,216,500 円

・森本さん卓話よろしくお願いします。
【河嶋　一】【野田義弘】【三村昌之】【矢尾主成】【三田村久光】【柿谷好彦】【渡辺岳史】【谷尾準一】
・ちょっと　【河合敏一】
・森本さんよろしくお願いいたします。午後のクラブ協議会併せてお願いいたします。　【宮本　俊】
・有定さん最後のお仕事ご苦労様です。　【井上常宏】
・本日早退させていただきます。申し訳ありません。　【林　豊和】
・今年度もありがとうございました!!　【前田武彦】
・父の葬儀の際はどうもありがとうございました。　【鷲田文枝】
・ちょっと　【有定静子】

本日(6 月 20 日)の例会	6 月 27 日	7 月 4 日	7 月 11 日
最終例会および新入会員歓迎懇親会　18:30～ 場所：料亭うおとめ	休　　会	夜間例会 19:00～ 第一例会行事 新年度挨拶	委員会活動方針発表